

# センスのよい商品構成 圧倒的な仏具展示力がお客様に好評

## 木村屋・メモリアル(愛知県丹羽郡)

木村屋は愛知県犬山市で昭和十年、小川源太郎氏が木村葬具店を譲り受け創業し、現在ではシオンの名称で、犬山・扶桑・江南・尾北・小牧・高蔵寺に会館を展開するが、その仏壇ギフト部門がメモリアル。

前はこと犬山市内で四十坪の仏壇店を開き、現在のショッピングエリアとなっているビバリータウンに移ったのは三年前です。今の店舗になってからはフリーのお客様も随分と増えましたね。店舗面積も百五十坪と広くなった分、品揃えも豊富になりお客様の満足度も随分と上がりました」

二階建て店舗は以前ゲームセンターだったもので、エントランスと二階部分が仏壇の展示スペースとなっている。品揃えは唐木仏壇・都市型仏壇・金仏壇と非常に豊富で、何よりも大半の仏壇に仏具が合わせて展示してあるのが大きな特徴。

「以前であれば一間の仏壇が当たり前であったこの地でも新たに仏壇を作る場合は半間が多く、仏壇を作らない家も増えてきています。実際に販売される仏壇の六割は都市型で18号以下の製品が大半で、時代に合わせた商品構成が強く求められています。大切にしていることは自分達が気に入った仏壇を展示をすること、お客様がおまじりして下さる仏壇仏具を販売することです」と平田氏は語る。

店内は細部に至るまでスタッフの愛情が行き届いている。

◎木村屋・メモリアル

愛知県丹羽郡扶桑町高雄

下野七一二 TEL〇五

八七(九二)〇〇二〇

FAX〇五八七(九二)

〇〇二二



伝統的な唐木仏壇(左側)と伝統唐木とモダンの中間型のトラッドモダン(右) 展示仏壇のほぼ全てに仏具が展示してあり、お客様にイメージを強く発信する



階段踊り場のモダン仏壇展示(左)



エントランスには様々な小型都市型仏壇が展示される(右)



店舗外観



人気の都市型仏壇ラインアップ



スペースを有効に活用しての展示が行われている